

特選講師情報

リストNo 15401

2026/01

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： **C**
BEST9

上げ潮派の論客(講演60分+質疑応答30分)

● 地政学で今を読み解く

高橋 洋一

嘉悦大学教授・(株)政策工房 代表取締役会長

1955年生まれ。東京大学理学部・経済学部卒業。80年大蔵省(現・財務省)入省。税務署長、証券局、理財局、官房金融検査部、資金企画室長、国土交通省へ出向、財務省関東財務局理財部長、経済財政諮問会議特命室兼務、2006年内閣参事官。“小泉・竹中改革”中核メンバーとして郵政民営化・道路公団民営化・政策金融機関一本化・公務員制度改革に尽力。07年“霞が関の埋蔵金”暴露で一躍脚光を浴びた。08年財務官僚退官、東洋大学経済学部教授就任。翌年退任。山本七平賞「さらば財務省！」で受賞。

(他のテーマ) ■ 日本経済では本当は何が起きているか



講演料： **B**
BEST9

揺れ動く国内外のタイムリーな話題をわかりやすく伝えます

● 緊迫する国際情勢と日本の課題

村田 晃嗣

同志社大学教授

1964年兵庫県神戸市生まれ。87年同志社大学法学部卒業。95年神戸大学大学院博士課程修了。この間、91～95年米国ジョージ・ワシントン大学留学。95年広島大学専任講師。96年読売論壇新人賞・優秀賞受賞。98年神戸大学博士。99年広島大学総合科学部助教授。アメリカ学会清水博賞・サントリー学芸賞受賞。2000年吉田茂賞受賞。朝日放送番組審議会委員。00年同志社大学法学部助教授。05年同教授。11年同法学部長。13年4月より1期16年3月まで学長。'25年7月より東京大学先端科学研究センター客員上席研究員。テレビ朝日『朝まで生テレビ』・読売テレビ『そこまで言って委員会NP』にパネリストとして不定期出演。

(他のテーマ) ■ 内政・外交に見る 今、期待されるリーダーシップ
■ トランプ政権と日本の課題



講演料： **B**
BEST9

事実認識の共有化を目指して講演を中心に活動中(会場での移動導線は禁煙必須)

● 地域力と地域経済再生の秘策

藻谷 浩介

(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

1988年東京大学法学部卒業。日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。コロンビア大学経営大学院派遣留学(MBA取得)。94年より(財)日本経済研究所調査局(派遣出向)。99年日本政策投資銀行地域企画部調査役、2007年より地域振興部参事役。09年より1年間DBCシンガポール(株)シニアアドバイザー兼シンガポール政府国際企業庁パートナー。10年より地域支援班参事役。'12年より特任顧問、および現職。内閣府地域再生本部「地域活性化伝道師」、中小企業庁「地域中小企業サポーター」など政府関係委員多数。著書に『デフレの正体』『ニッポンの地域力』ほか多数。

(他のテーマ) ■ 地域の未来をひらく視点～人口減少時代における、地域の課題！まちづくりの成功例
■ 「地域間格差」は本当に拡大しているのか



講演料： **B**
BEST9

温厚なイメージですが、講演会ではかなり熱弁！

● いま政治に求められるもの

橋本 五郎

読売新聞特別編集委員

1946年秋田県生まれ。1970年慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、読売新聞社入社。本社社会部をはじめ政治部、論説委員、政治部長・編集局次長を歴任。1999年から日本テレビ系列「ジバンクあさ6」「ズームイン!!SUPER！」でニュース解説を担当。2006年12月より現職。日本テレビ「スッキリ！」、読売テレビ「ウェークアップ！ぷらす」、情報ライブ「マイな屋」にレギュラー出演。2014年日本記者クラブ賞受賞。主な著書として「心に響く51の言葉」「総理の覚悟」「総理の器量」「範は歴史にあり」「橋本五郎の『どうなる日本！』—政治・経済ここがポイント」など多数。

(他のテーマ) ■ 総理の器量～政治記者がみたリーダー秘話
■ どうなる日本！ 地方創生へのカギ

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： C
BEST9

「草食系男子」や「おひとりさま」という言葉を世に広め、テレビ・雑誌・講演などで活躍中

● イブキの若者（Z世代、ゆとり世代）の戦力を経営に活かすには？

牛窪 恵

世代・トレンド評論家 / 立教大学大学院 客員教授

東京生まれ。日大芸術学部卒業後、大手出版社入社。5年間の編集及びPR担当の経験を経て、フリーライターへ。雑誌やテレビの企画、執筆や企業PRに取り組む。2001年マーケティングを中心にを行う㈲インフィニティ設立。現在、『日経ビジネスオンライン』『日経消費ウォッチャー』ほか『プレジデント』『週刊ダイヤモンド』『AERA』などに連載、定期寄稿中。講演活動やTV・ラジオのコメンテーター出演を積極的に行なう。得意分野はトレンド、世代論、マーケティング、小売流通、ホテル、旅行関連。「おひとりさまマーケット」「草食系(男子)」は新語・流行語大賞に最終入賞。

(他のテーマ) ・ 時代のトレンドを読み解き、ビジネスに活かす
・ 地元の経営に役立つ！現代消費者の価値観とココロとは



講演料： B
BEST9

赤字企業を世界No.1へ導いた“経営の秘訣”とは？

● 変革する時代における成功法則

～タニタで学んだ世界一への“経営の秘訣”

谷田 昭吾

講演・研修講師/㈱コアウェル代表取締役社長

体脂肪計で世界一となり、社員食堂でも話題になった株式会社タニタの創業ファミリー。同社の営業・新規事業・新会社立ち上げ、海外における役員経験を経て独立。父・谷田大輔氏の最も近くで、公私にわたってその経営学を学び、赤字企業だったタニタを成長させた「タニタの成功法則」を受け継いできた。2013年に書籍「タニタはこうして世界一になった」(講談社)をプロデュース。講演では父から学んだ経営学を客観的視点で語り継ぐと同時に、自身が学んできたポジティブ心理学の視点から「成功法則」をビジネスや日常生活で実践するための方法を伝えている。

(他のテーマ) ・ 健康経営 実践の極意～社員も会社も元気にする5つの法則
・ タニタ創業者が語る事業承継～何を守り、何を変革するのか



講演料： B
BEST9

「情報プレゼンターとくダネ！」の気象キャスターとしてお馴染み！

● ちょっと変かな？最近の天気～異常気象と気象災害への備え

天達 武史

気象予報士

1975年神奈川県生まれ。97年御茶ノ水美術専門学校卒業後、9年間ファミレスに勤務。目の前が海だったため、天気や客数が大きく変化。過不足なく食材を発注する為に気象予報士を目指し、2002年7回目の挑戦で試験に合格。05年からフジテレビ系列「情報プレゼンターとくダネ！」の気象キャスターとして出演。天気の「天」に達人の「達」と書いて天達、災害を防ぐ使命を持って、天気の達人を目指し、分かりやすく、興味を持ってもらえるような天気予報が人気に。著書に『気象予報士天達流四季の暮らしと二十四節気の楽しみ方』『アマツさん、ネコが顔を洗うと雨って本当ですか？』など

(他のテーマ) ・ 天気の達人、天達と考える気候変動と地球の未来
・ 天気の達人、天達と考える“天気”と“防災”



講演料： B
BEST9

歴史は活用してこそ意義がある！

● 時代の変革期におけるリーダー・シップ

加来 耕三

歴史家・作家

1958年、大阪府生まれ。奈良大学卒業。新鋭な感性と現代に活かす史実の新しい断面を解析し、伝説や通説になった歴史のウソに鋭くメスを入れる作家・歴史家。奈良大学文学部研究員を経て著作活動に入り、講演活動のほかTV「英雄たちの選択(NHK BSプレミアム)」「先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)(NHK Eテレ)」等、ラジオ「加来耕三の「歴史あれこれ」(全国のAMラジオ局12局)」等の番組監修・構成・出演。著書に『家康の天下取り 関ヶ原、勝敗を分けたもの』『日本史を変えた偉人たちが教える 3秒で相手を動かす技術』『読むだけで強くなる 武道家の金言』『戦国美女は幸せだったか』『リーダーは「戦略」よりも「戦術」を鍛えなさい』『加来耕三の感動する日本史』など多数。

(他のテーマ) ・ 歴史に学ぶ魅力あるリーダーとは
・ 戦国武将に知恵を学ぶ



講演料： B
BEST9

オール一本勝ちで五輪2連覇達成！ <60分講演+質疑応答>

● 夢を叶える思考力

～ポテンシャルの引き出し方

谷本 歩実

女子柔道 アテネ・北京オリンピック金メダリスト

1981年生まれ、愛知県出身。筑波大学卒業後、コマツ入社。女子柔道63キログラム級、アテネ・北京オリンピックで金メダルを獲得。大会史上初となるオール一本勝ちでの連覇となった。2010年引退後はコマツ柔道部のコーチを務める傍ら、栄養士の免許を取得。2013年3月から2年間JOC海外指導者研修でフランスへ留学し、現在、全日本柔道女子チームの特別コーチや、2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事を務める。一児のママとしても活躍中。

(他のテーマ) ・ 金メダリストの思考回路
・ 私の柔道人生

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発

● 今後の政治・経済をどう読むか

須田 慎一郎

経済ジャーナリスト

1961年東京生まれ。日本大学経済学部卒業。銀行業界紙、経済専門誌記者を経て、フリージャーナリストに。「タ刊フジ」「週刊ポスト」「週刊新潮」などで執筆活動が続ける傍ら、テレビ朝日「ワイドスクランブル」、「サンデーフロントライン」、読売テレビ「たかじんのそこまで言って委員会」、ニッポン放送「あさラジオ」他、TV、ラジオの報道番組等で活躍中。又、2007年から12年まで内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。金融界、日本銀行、財務省、東京地検等に豊富な人脈を持ち、金融問題、経済事件のレポート、分析には定評がある。

(他のテーマ) ・ 今起こっていること、これから起きること～政治経済の裏を読む～



講演料： E

斬新な切り口で日本外交を戦略的な視点から分析

● 最新の国際情勢と日本経済に与える影響

宮家 邦彦

外交政策研究所代表/立命館大学客員教授

1953年神奈川県生まれ。1978年東京大学法学部を卒業後、外務省入省。76～77年米ミネソタ大学、台湾師範大学、79年カイロ・アリアン大学、81年米ジョージタウン大学で語学研修。82年7月在イラク大使館二等書記官、86年5月外務大臣秘書官、91年10月在米国大使館一等書記官、98年1月中近東第一課長、同年8月日米安全保障条約課長、2000年9月在中国大使館公使、04年1月在イラク大使館公使、イラクCPA出向、04年7月中東アフリカ局参事官などを歴任。05年8月外務省を退職し、現職。立命館大学客員教授、キヤングローバル戦略研究所研究主幹。2022年10月より内閣参与。

(他のテーマ) ・ 世界の動向と日本外交
・ 新民族主義の危険 ～マネーとパワーの地政学



講演料： B

第63回ブルーリボン 作品賞「Fukushima50」原作者が語る

● 歴史の岐路に立つ日本 ～私たちは今、何をすべきか

門田 隆将

作家・ジャーナリスト

1958年高知県生まれ。中央大学法学部政治学科卒業後、新潮社に入社。週刊新潮時代は、特集班デスクとして18年間にわたって政治、経済、歴史、司法、事件、スポーツなど、さまざまな分野で800本近い特集記事を執筆した。独立後、「毅然と生きた日本人」をテーマに、ノンフィクション作家として次々と話題作を発表。代表作に、司法の病理を抉った『裁判官が日本を滅ぼす』(新潮社)、光市母子殺害事件の9年間を描いた『なぜ君は絶望と闘えたのかー一本村洋の3300日』(新潮社)、『疫病2020』(産経新聞出版)等がある。

(他のテーマ) ・ 私達は国家の難題をどう考えるべきか
・ 新聞・雑誌ジャーナリズムの舞台裏～極限で発揮してきた日本人の現場力とは



講演料： B

経済学の活用で、より良い社会や企業の成長・変化をめざす

● 会社員の為の経済・金融リテラシー

崔 真淑

エコノミスト

神戸大学経済学部卒業。大和証券SMBC金融証券研究所に入社。株式アナリストとして活動後、債券トレーディングに従事。2012年(株)Good News and Companies 設立。専門はマクロ経済分析、コーポレートガバナンスと企業価値。2013年より日経CNBC経済解説委員。NHKラジオ第一「まいあさラジオ」、BSNHK「経済フロントライン」出演中。2016年一橋大学大学院にてMBA inFinance取得。東京証券取引所のPRコンサルティングの他、一橋大学大学院イノベーション研究センター所属。博士後期課程在籍。テレビ・ラジオ出演・執筆活動・企業アドバイザーとして活躍。金融庁「金融リテラシー研究会」メンバー。三重県出身。

(他のテーマ) ・ AIは仕事を奪うのか?～技術革新と経済格差
・ ゼロから分る資産運用術



講演料： C

60分

● 48歳で初めてガン宣告

～中咽頭癌を克服した話

ワッキー (ペナルティ 芸人)

1972年北海道生まれ。'94年銀座7丁目劇場のオーディションに合格しデビュー(ヒデとペナルティを結成)。筋肉芸人としても知られ、「お笑い界一」と称されたこともある程の身体能力の持ち主。また'09年映画「長髪大怪獣ゲハラ」出演、'14～'19年舞台「MOTHER マザー～特攻の母 鳥濱トモ物語」に出演するなど多方面で活躍。'20年に中咽頭がん発覚し、2ヶ月の入院と10ヶ月の休養を余儀なくされた。

(他のテーマ) ・

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

企業研修講師認知神経学会正会員

● モチベーションの正しい維持回復の方法

白戸 三四郎

(株)ウインケスト代表/ビジネスメンタリスト

生命保険の営業所長時代最下位から全国トップ組織へと立て直したマネジメント経験と成人学習理論、認知科学等を土台とした研修を年150回以上行う。学習効果を最大限に高める目的で、年間6,000人以上の参加者のお悩みや疑問を扱う「ソクラテス式学習メソッド®」は他の講師が行わない独自の技術として注目されている。これまでの延べ受講人数は43,000人を超える、認知的コミュニケーション指の専門家。総視聴数340万回超の教育系YouTubeチャンネルや、自身のオリジナル動画見放題アプリ「MA-navi」での情報発信など、社会人の学びを普及する活動も行っている

(他のテーマ) ・ マネジメント手法の前に「認知を機能させる」ことの大切さ
 ・ 部下育成の柱「アウトプットと言語化習慣」の重要性



講演料： B

● 信頼関係を築くコミュニケーション～言葉は心をつなぐもの

八木 早希

フリーアナウンサー

1978年米国ロサンゼルス生まれ、大阪・阿倍野で育つ。父親の仕事の関係で小学校4～6年韓国在住。高校2年アメリカ・シアトル留学。同志社大学卒業後、01年毎日放送入社。11年フリーへ転身。日本テレビ「NEWS ZERO」キャスターを3年間務める。ニュースを伝える他、大勢の政治家、著名人、ハリウッド俳優らへインタビュー、国内外の取材多数。コミュニケーション等に関する講演活動も行う2011年から四条畷学園大学客員教授。著書に朝日新聞出版「誰ととも自然と親しくなれる30のルール」他がある。主なレギュラー番組としてNHK「ぐるっつ関西おひるまえ」、KTV「胸いっぱいサミット」などに出演。ラジオ「Changeの瞬間(とき)～がんサバイバーストーリー」を'25年3月まで進行担当した。

(他のテーマ) ・ 人間成長は出会いから
 ・ 八木早希が語る！多文化共生



講演料： D

成熟社会の幸福論

● AI時代の戦略的生き方のすすめ～変革と成長を促す思考法

藤原 和博

教育改革実践家/「朝礼だけの学校」理事長

1955年生まれ。78年東京大学経済学部卒業後、リクルート入社。東京営業統括部長、新規事業担当部長などを歴任。93年よりヨーロッパ駐在、96年から同社フェロー。03年4月都内初の民間人校長として杉並区立和田中学校校長に就任。[よのなか]科が『ベネッセ賞』、「和田中地域本部」が『博報賞』、「食育」「読書活動」が『文部科学大臣賞』と四冠受賞。「私立を超えた公立校」を標榜し「45分週32コマ授業」を実践。保護者と地域ボランティアによる学校支援組織を学内に立上げ、「英語アドベンチャーコース」「夜間塾「夜スベ」」に取組み話題に。09年～11年、大阪府教委の教育政策特別顧問。

(他のテーマ) ・ 10年後君に仕事はあるのか？～未来を拓く「情報編集力」の育て方磨き方
 ・ 人を育てモチベーションを向上させるコミュニケーション技術とは



講演料： C

● あきらめない心

鈴木 明子

プロフィギュアスケーター

1985年愛知県豊橋市出身。東北福祉大学卒業。6歳からスケートを始め、15歳で全日本選手権4位となり注目を集める。2006～2007ユニバーシアード冬季大会優勝。2009～2010グランプリファイナル3位、全日本選手権2位、バンクーバーオリンピック8位入賞。2012年世界選手権銅メダル、世界国別対抗優勝。2013～2014全日本選手権初優勝、ソチオリンピック団体5位入賞、個人戦8位入賞。現役を引退後は、プロスケーター、スケーター関連のテレビ・ラジオ出演等を主に活動中。著書に「ひとつひとつ、すこしずつ。」「壁はきっと超えられる一夢をかなえる晩成力」がある。

(他のテーマ) ・ ひとつひとつ、少しずつ。
 ・



講演料： C

わかりやすく歯切れの良い医学解説で各メディアでも活躍中(診察でスケジュール調整要)

● 代謝を上げて、老いない、若返る、健康に生きる！

池谷 敏郎

池谷医院院長、医学博士

1962年生まれ。1988年東京医科大学医学部卒業後、同大学院第二内科に入局。1997年池谷医院理事長兼院長に就任。わかりやすく歯切れの良い医学解説で各メディアでも活躍中。主な出演番組は、「駆け込みドクター！」(TBS)、「林修の今でしょ！」(EX)、「世界一受けたい授業」(NTV)など。主な近著に「病気は血管から治せ！～今からでも間に合う血管トレーニング」「嘘の健康常識ぬ殺されないための50の正解」「血管の名医が教える15歳若返る習慣」ほか多数。

(他のテーマ) ・ 老いは止められる！血管力をアップして健康寿命を延ばす！
 ・ 心筋梗塞・脳卒中・認知症をよせつけない「100年血管の作り方」